



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2016年2月会報 第329

主題・標語

国際会長(IP) ウィチャン・ブーンマパシジョン (タイ)

主題: "Mission with Faith"

「信念の有るミッション(使命・目的)」

アジア地域会長(AP) エトワード ケータブリュー オンガ(シンガポール)

主題: "Through Love Serve"

「愛を持って奉仕をしよう」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)

主題: 「あなたならできる! きっとできる」

“ You can do it! Yes, you can! ”

標語: 「-生きる しなやか さわやか-」

- Live flexibly and refreshingly -

六甲部長 進藤 啓介(神戸)

主題: 「YMCAと共に」

《人を育み・地域に仕える》

宝塚クラブ会長 鯖尻 佳子

主題: 「楽しい例会で素敵な交流の輪を広げましょう!」

今月のテーマ: TOF (断食奉仕)
C S (地域奉仕)
F F (家庭断食)

心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る。
(マタイ 5章 8節)

2016年2月例会

日時: 2016年2月10日(水)18:30
場所: 宝塚ホテル ゴールドの間
会費: 会員 3,100円、会員外 2,500円

ドライバー 谷川 尚 長尾 亘
開会点鐘 鯖尻 佳子会長
ワイズソング 全員
聖書朗読 杉谷 和代
祈 禱 堀江 裕一
ゲスト・ビジター紹介
入会式

会長・委員会報告
会 食

お 話 “Y's men's club に育てられて”
重松 えみりさん

誕生日のお祝い
閉会点鐘 鯖尻 佳子会長

2015/16 役員	会長 鯖尻佳子 直前会長 杉谷和代 副会長 福田宏子、杉谷和代 書記 若林成幸 会計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚 六甲部メネット事業主査 福田 素子
事業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田 宏子 地域奉仕・環境 多胡 葉子 EMC 長尾 亘 交 流 石田由美子 ファンド 武田寿子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	吉田早苗(2月10日) 福田 肇(2月11日) 坂田昌鴻(2月14日)
1 月 実 績	例会出席者数 33名 在籍会員数 20名 出席会員数 14名 出席率 85.0% メイクアップ(内数) 3名 メネット 3名 コメント0名、ゲスト・ビジター16名
	BFポイント 1月 3,700円 累計 23,240円 にこにこBOX 1月 1,000円 累計 38,300円 ファンド(物品販売) 0円 累計 67,350円

1月第1例会報告

新年1月例会は1月13日(水)18:30から宝塚ホテル・オーシェルの間で開催され、メン14、メネット3、ゲスト16の計33名が出席した。加藤ドライバーの司会により、鯖尻会長の開会点鐘、堀江メンの聖書朗読、若林メンによる開会祈祷と続きゲスト・ビジターの紹介が会長により行われた。今回も会員数よりもゲストの方が多いというパターンではあったが新年から大勢のゲストを迎える事は喜ばしいことであった。

ゲストスピーカーとして能楽五流の一派観世流の吉井基晴氏をお招きした。例年の1月は「新年の抱負」を全員で語ることとなっているが今回は今田メネットの発案でこの様な機会を持つ事が出来た。「今年の抱負」は各自文書で出して頂き、ブリテンに掲載することとした。会長報告、諸報告をやめてテーブル毎になごやかな会食の後「能楽の魅力」と題するお話を聴いた。

吉井氏は50才、重要無形文化財総合指定保持者、2才にして初舞台を踏んだと言う気鋭の能楽師、紋付、袴の装束で颯爽と登場、それだけで会場の雰囲気が一変、皆さんシャンとした姿勢に成った様な気がした。能に関して殆ど知識のない私達に対し、映像や実演を交えて、やさしく判りやすく話して下さった。能を理解する上でのいくつかのポイントとして元来は大衆の芸能であったと言う能の歴史、能舞台を構成す



る本舞台、背景になっている松の描かれている鏡板、演者入場に使う橋掛かり等、更に笛、太鼓など囃子方、地謡のグループの並び位置など能舞台の全景の意味が私達の頭にインプットされた。そして、登場人物の役柄、演者の動き、動作(所作)の意味、おもて(面)の種類や表情等を丁寧に説明された。

その後「屋島」という有名な曲のラストシーンである「義経の舞」が映し出され、しばらくの間、幽玄の世界を味わった。続いて吉井氏自身がステージに上がり、これも有名な「羽衣」を謡いながら舞を披露された。私達はその凜としたすがたに心をうごかされた。



そして、本日のハイライトが待っていた。結婚式で良く謡われる「高砂や、この浦舟に帆を上げて・・・」を全員で謡うとゆうもの、吉井氏が一節ずつ謡いそれに倣って私達も配られた歌詞を見ながら追って謡う、口伝えである。最初は少し怪しげであったが、途中からは先生の迫りに追いつこうと大きな声が出てきた。音程の上下はしるしが付いているので大体判る。

一通り終わったところで今度は初めから全部通して謡った。「高砂や～」が部屋いっぱい響きわたった。「よく声が出ていました。素晴らしい！」と先生からお褒めの言葉を戴き全員大満足でした。

この後、西宮クラブのメネットからチャリティージャズライブのアピールなどがあり、誕生日のお祝いをして会長の点鐘で閉会とした。



吉田 明

1月第2例会報告

1月20日(水)18:30から宝塚西公民館会議室において1月第2例会が行われ、鯖尻会長、石田、多胡、武田、長尾、福田宏子、吉田、若林各メンが出席した。

議事要旨は次の通り。

1. ブリテン2月号及び英語版発行について

長尾メンから提示の寄稿分担・編集日程等にもとづき、原稿締切1月28日、発行2月1日となった。なお、英語版ブリテンについては、編集責任を石田メンが引き継ぎ、簡易なNewsletterに衣替えてタイムリーな発行を行うことになった。初回は市民クリスマス特集とし、数名が寄稿する。

2. 新入会者の承認及び2月例会運営について

長尾メンより入会希望の重松えみり氏の紹介があり、これを承認した。

2月例会は、入会式とTOF例会とする。入会式に西日本区EMC主任・六甲部の部長・EMC主査の臨席を要請する。スピーチは重松氏に自己紹介を兼ね、氏のこれまでのYMCAとの関わり、その他ご自身の活動などのお話を伺う。食事は止めカレー単品。会費は、会員3100円、内1000円をTOF献金に充当、ゲストは2500円とする。

3. 3月以降のゲスト・スピーカー

各会員から推薦者を中心に3月以降のスピーカーを決定した。

3月 元小林聖心女子学院副校長 藤松 薫氏

4月 細川佐和子氏 万葉集のお話

5月 稲岡大介氏 民族楽器ハンマードルシマー演奏等

6月 年間活動の総括(スピーカー不要)

4. 各種会合及び出席予定者

2月3日 六甲部拡大役員会

鯖尻、福田素子、

2月6日 13~17時 YYフォーラム・懇談会

鯖尻、多胡、武田

2月22日 18:30 神戸Y総主事・クラブ会長懇談会
鯖尻、若林

3月5日 六甲部評議会

5. NGO活動展20周年

テーマ:あなたも出来る国際協力「続けて、
繋がって20年」

折角の記念事業であるが同日開催の六甲部評議会参加を優先し、今回は出展を辞退する。

6. 「揚がれ!希望の凧2016」の実施について

多胡メンの報告があり、3月11日、YMCA・宝塚Ys・はんしん自立の家・武庫川がっこうの共催で武庫川河川敷を中心に実施。宝塚さざんか福祉会から和凧を購入し、それに絵付けをして凧揚げ。自立の家はぜんざいを提供。宝塚市社協の「愛のもちより運動助成金」を活用して凧代3万円、自立の家に5千円を支出。

7. 会計中間報告について

吉田メンからクラブ会計について詳細な資料により中間実績が示され、概ね順調に推移していることを確認。合わせて神戸Y新館建築募金10万円、タイワーク支援金の支出を承認した。

8. 西日本区次々期理事支援について

多胡メン(六甲部直前部長)から、次々期西日本区理事に六甲部から大野メンを内定していること、六甲部として理事活動支援策の構築が急務であることが報告され、問題点を話し合った。次々期理事にとどまらず数年毎に理事輩出の要請があることを踏まえ、理事期間(実質的に「次期・当期・直前」の3年間)にわたる理事の活動内容を峻別し、必要な資金を確保する六甲部の財政整備を行う必要があることを共有した。

9. 宝塚市障害者スポーツ協会について

井上メンが世話人となって標記のスポーツ協会が設立される。国のスポーツ基本法施行後、地域での障害者スポーツの推進が求められており、宝塚市内の障害者スポーツ団体を束ねる協会を設立するとともに、来春には宝塚市体育協会に加盟するというもの。

当クラブも設立の趣旨に賛同し、応分の協力をすることを確認した。

設立総会は1月31日13時から宝塚市総合福祉センター3階大ホールにて行われる。当日14時から講演「地域における障害者スポーツの振興」県障害者スポーツ振興協会理事増田和茂氏と障害者スポーツ体験会が予定されている。長尾くんが出席の予定。

若林 成幸

■入会者の経歴■

氏名 重松えみり
 生年月日 1977年11月11日 生まれ
 さそり座 B型
 兵庫県出身
 神戸海星女子学院高等学校出身
 阪南大学経営情報学部(専攻システム情報学)卒
 シェイクスピアシアター出身
 ワイズメンズクラブ、ユース組織「Y3-West」
 「Y3-East」設立
 ・1999年、十勝で開催されたアジアユースコンボ
 ケーションの運営メンバー
 ・2002年、『日本ドリームオフィス』設立

て会場では熱気と歓談があちこちから聞こえて新年会に相応しい例会でした。第一部のご挨拶で寄り添うのではなく共に生きることも大切であると言われたのが印象的でした。

第二部の邦楽では詩吟は寒梅、宝船が唄われました。また尺八、お琴が華やかに演奏されアメージンググレースや花は咲くが尺八とお琴で演奏されたことは思い出に残る演奏になりました。

第三部の懇親会は美味しいお弁当と共に賑やかに和やかな祝宴となりました。大阪なかのしまクラブや大阪セントラルクラブの皆さんとも歓談出来て幸せでした。第四部は高原剛一郎氏の「世界情勢の分析と聖書メッセージ」という講演でした。難民問題から中東問題、また東アジア、アメリカ大統領選挙まで話は進みましたがイスラム教のシーア派スンニ派の違いまた国によってその二つの派が占める割合が違うことなど中東問題の複雑さが少し理解できたように思いました。聖書の預言と成就の話はもっと聞きたく思いました。第五部ではYMCAの歌を気持ちを一つにして歌い閉会点鐘で終わり寒さ厳しい中ではありましたが心は温かくなって帰路に着きました。

鯖尻 佳子

今年の抱負を一言

(順不動)

鯖尻佳子

後半の会長職も元気で頑張りたいと思います。皆さんの温かい応援いつも心から感謝しています。これからも宜しくお願いいたします。

井上 聖

宝塚市障害者スポーツ競技会を1月31日に設立します。障害者スポーツ団体・障害者団体・障害者スポーツ指導員・ボランティア等で障害者スポーツの推進をします。ワイズメンズクラブのご協力をお願いします。

会長報告

寒さ厳しい1月23日(土)大阪YMCA会館での中西部合同新年会に参加してきました。総勢116名参加の合同例会だけあっ



福田 肇 素子メネット

数年前に挑戦した独語に再アタック、スペイン語又フランス語に再アタックと考えましたが真面目に英語をやり直します。

杉谷 和代

忙しい1年に成る様で、先ず身体に気を付けて1年無事に Happy に終えたいと思います。“行い”の1年とします。

多胡 葉子

今年も Y'S 活動をとおして新しい発見、新しい交流、豊かな日々を

今田 和子

動きにくい今田の分まで働きたいと思いつつ意にまかせない昨今、上手に時間を使いたいと願っています。

坂田 昌鴻

出来れば穏やかな心で、喜んで、積極的に活動したい。目標としては日本の歴史、文化、文学を勉強したいと思います。

石田 由美子

来るべき老後に備えて！駅近くマンションに引っ越したいと思っています。その為にも気力、体力をキープして早く実現したいです。

若林 成幸

- ・ドイツ駐在の長男家族を訪ねて訪欧5～6月
- ・声のリフレッシュのため遅ればせながらボイストレーニング
- ・次期クラブ会長に再挑戦

谷川 尚

40代中ほどに差しかかり、仕事も家庭も多忙になって充実していますが、先ずは健康。昨年は入院など足元すくわれましたが精進すること油断することないように歩みたいと思います。

青柳美知子

障害児の孫との時間を大切にする事、それによって自分の時間を豊かにしたい。

加藤 光信

ことしは申年、桃太郎は鬼退治へでかける時、サル、イヌ、キジををお供とします。

元気に暮らす秘訣はキジのように口をよく使い、イヌのように足をよく使い、サルのように手をよく使う。毎日歩き、手を動かし、偏食せずに食べて話す、日々是好日で過ごしたい。

吉田 明

今年中に80歳になる。体力と家庭の事情の許す限り、多くの会合、音楽会に出ていきたい。

武田 寿子

全てに時があるということ、走るとき、愛するとき、そして退くとき、2016年は私にとって大きなチャレンジ、まず、3月に34年間勤務した専門学校を退職する。健康に恵まれ、家族の理解のもと、若者の教育に携われたことに感謝したい。どのように残された時間を過ごすのか、これからの大きなチャレンジであり楽しみでもある。

堀江 裕一

紅白歌合戦を聴いていると全く知らない歌が半分を超える。歌手の名前か歌の題名かの区別もつかない。今年はまだ少し時代の流れについて行けるよう努め、傘寿に備えたい

福田 宏子

2016年の新年を迎えるに当たり、現在まで成したことを振り返り、今後できる限りのことを考慮し、何に可能性があるのかを追求し、新しいものへの挑戦を心がけたい」

長尾 亘

ワイズ活動、趣味の合唱、写真が楽しく出来るように健康1番、この1年がんばります。

例会訪問・企画

芦屋クラブ1月例会に参加し

去る1月20日(水)芦屋竹園で行われた芦屋ワイズの1月例会に参加しました。と云うのもインド舞踊のお話と伺い興味津々で出掛けました。五十嵐会長の開会点鐘、聖書朗読とその解説を詳しく伺い、ゲストの紹介の後、お正月らしく松花堂弁当に舌鼓を打ちました。会食の間にインド舞踊のビデオが流されました。そこには、私の知っている寺院に奉納する舞踊ではなく集団で踊っている映像や数人での踊りがありました。会食の後、ゲストのナリニ・トシュニワルさんのお話になり、彼女は大きなインドの地図を広げて北と南の違いなどお話をして下さいました。ジプシーのインドの北の方からヨーロッパ、アフリカへとつながっていたと聞き驚きました。ゲストのナリニ・トシュニワルさんは、インド舞踊の名手で芦屋市内でヨガや瞑想の教室をもち、インド舞踊の啓蒙にあたっていらっしゃるそうです。ともかくも彼女は、インド舞踊を3~4曲、踊って下さいました。舞台は神聖な場所で裸足で踊るとか、日本舞踊との共通点も話して下さいました。踊りは感動的でした。激しいだけでなくしなやかでとても魅力的でした。私は1月のお誕生月もちょうっかりお祝いを受け閉会点鐘の後、彼女の踊りの感動のうちに芦屋の雨の中帰路につきました。

水谷 恭子

希望の凧 2016

東日本大震災支援プロジェクト
「揚がれ！希望の凧 2016」

東日本大震災から5年目を迎える3月11日。今年も宝塚ワイズでは他団体のご協力を得て

第5回目になります宝塚の大空から東日本の被災地に地域の方々と共に希望の凧揚げをします。

街の復興は少しずつ進みかけているとはいえ心の復興は簡単なものではありません。被災者の方々に寄り添い、絆と連携の心を届けていきたいと思えます。

皆様のご協力よろしくお願ひします。

- 日時:平成28年3月11日(金) 14:00~16:00
- 場所:はんしん自立の家、武庫川河川敷(むこにゃん広場)
- 内容:東日本大震災から5年の節目に、被災地の1日も早い復興を願ひ、希望の凧を揚げて被災地の皆さんに思いを届ける。
- 参加者及び定員: 特に制限なし
- 費用:無料
- 主催:YMCA・宝塚ワイズメンズクラブ
・武庫川がっこう、はんしん自立の家
- 後援:宝塚市・宝塚市社会福祉協議会
- 協力:宝塚さざんか福祉会

今回も昨年同様、さざんか福祉会から和凧を購入し、それに絵付けを事前にしてを作って持ち寄り凧揚げすることを前提に以下の要領で開催する。

スケジュール	内容
12:00~14:00	・会場準備(販売品および展示品)
14:00~14:10	・むこにゃん広場へ移動
14:10~14:45	●凧揚げ
14:46~14:47	●全員で黙祷(1分間)
14:50~15:00	・はんしん自立の家へ移動
15:00~16:00	●室内イベント(ぜんざいの振る舞い)
16:00~16:30	・後片付け

(注)ぜんざいの振る舞いは「はんしん自立の家」の御好意

*尚、本事業は「歳末助け合い愛の持ち寄り運動」の助成を受けています。

多胡 葉子

第23回バレンタインコンサート

2月11日(木・祝)

会場:三田市フラワータウン市民センター

出演:兄弟デュオ「ちめいど」

ハーモニカ演奏「足立安弘」

入場料:1,000円

主催:三田ワイズメンズクラブ、三田YMCA

【今月のみ言葉】

6番目の幸いの言葉は、心の清い人々の幸いについて述べられています。ここで「清い」と訳されているギリシア語の「カサロス」は、「純粋な」、「清潔な」、「汚れのない」等の意味をもち、特に不純なものが混じっていない状態を表現していました。また、古代のユダヤ社会では、この言葉は、物質の純粋性や儀式的な清さ等の「外見的な清さ」と、人間の正しさや誠実さ等の「内面的な清さ」の二つの意味に大別されますが、イエスは特に、後者の目に見えない内面的な清さを強調されました。すなわち、律法等に規定されている形式的な清さよりも、人間の内面における清さを重視されたのです。その意味でも、「心の清い人」とは、利己的な思いや迷いを断ち切って、神のみを見上げようとする人々のことを指しています。

そして、そのように清い心をもっている人は、神を見ると断言されます。これは必ずしも肉眼で神の姿を見るということではなく、むしろ霊の目で神にまみえることを意味しています。そのように、この世の価値観に捕らわれず、神のみを見上げる純粋な心をもつ人は神と豊かな交わりをもつことができ、それゆえ彼らは幸いだと言われるのです。生身の

人間がそのような清い心を持つのは至難の業であるようにも思えますが、いずれにせよ、ここでは一切を神に委ねる姿勢が評価されており、その意味では、これまで触れてきた幸いの言葉とも内容的に密接に関連していると言えるのではないのでしょうか。

嶺重 淑

YMCA だよい



寒さが厳しくなってきました。

保育園では例年この時期は「インフルエンザ」警報?なみの警戒をするのですが、今年は寒さの訪れが遅かったのでこれから先どうなることやら。皆様も体調崩しやすい時、大切にお過ごしください。

1) 「YYフォーラム」開催のご案内

YMCAの活動を支えてくださっているワイズメン、ユースリーダー、様々なボランティアの方々が一同に集まり、「YMCA」の魅力について考えるときをもつ時を毎年新年に行っています。今年度は2月6日(土)13時から17時に日本キリスト教団神戸栄光教会において「リブランディング～神戸YMCAの宝探し」というテーマで実施企画中です。既に出欠お聞きしていますが、飛び入りでもOKです。都合がついた方は是非ご参加ください。

2) 「日本YMCA基本原則から学ぶYMCAの戦前・戦中・戦後」開催のご案内

今、社会でも政治でも、戦争放棄について様々な論議が行われていますが、YMCA自身は戦争をどのように体験したのか、そこからどのような歩みを学んだのか、ともに知り考える機会を企画しました。今だからこそ必要な学びがあります。参加お待ちしております

日時:2月17日(水)19:00~20:30
場所:神戸市青少年会館5階レクリエーション
ホール
ゲスト:山本俊正さん(関西学院大学教授)
参加費無料、申込は神戸YMCA
(078-241-7204もしくは houshi@kobeymca.org)
まで

・学園都市会館で「児童発達支援事業おひさま」が始まります。児童発達支援事業とは未就学(小学校未満)の発達に課題を抱える児童のための発達支援・療育活動です。神戸YMCAでは三宮(脇浜)、西宮につづいて三箇所目の開設となります。活動募集もですが、是非療育支援に関心がある方おられましたらご紹介ください。各施設で指導者・支援者も募集しています。

3)「第8回神戸YMCA・コミュニケーション学院日本語スピーチコンテスト」ご案内

神戸YMCAでは、毎年「日本語スピーチコンテスト」をコミュニケーション学院と共同開催しております。いつも六甲部各クラブからもご支援いただき運営していますが、今年度もお支え、またよければご参加いただきますようお願いいたします。なお協賛についてはコンテスト各賞の表彰に用いさせていただきます。

名称：第8回 神戸YMCA・コミュニケーション学院
日本語スピーチコンテスト

日時：2016年3月2日(水)9:00~12:00

場所：兵庫国際交流会館 多目的ホール
神戸市中央区脇浜町1-2-8

内容：テーマ 自由、但し日本に留学してからの経験や見聞を題材とし、それに基づいて自分なりに考えたり発見したりした内容を含むもの。

問合せ先 神戸YMCA学院専門学校(担当:
中道愛子)電話 078-241-7204 募金感謝

4) 新年度準備

神戸YMCAでは2016年度に向けて、活動募集やそのための準備を行っています。2016年度中には三宮で建設中の新会館も完成予定ですのでぜひご支援ください。トピックスは下記の事柄です。

・新会館の名称ですが正式に「神戸YMCA三宮会館」に決定しました。落成の際には皆様にも声がけいたしますので、是非ご参集ください(2016年度末予定)